

各位

明治学院大学

本学での「入学前教育」の取り組みについて

推薦入試等で合格した受験生に対し実施する「入学前教育」の取り組みについて、下記の通りご紹介いたします。詳細は各学科より連絡がありますが、タイミングは学科によって異なります。

記**【文学部 英文学科】**

英文学科では、入学後に充実した 4 年間を送っていただくために、推薦入試に合格され入学手続きをしてくださった方を対象に **Pre-entrance One-day Seminar** を開催します。開催日は 12 月 20 日（土）、会場は白金キャンパスです。遠方にお住まいの方々のためにライブ配信も予定しています。セミナーでは、大学で英語を主体的に学んでいくためのヒントや、英語力を高める具体的な方法を紹介し、また、教材やアプリ、ウェブサイト、学習法、書籍など、英語学習に役立つリソースを取り上げ、それぞれの活用方法も紹介します。英語に対する興味・関心をさらに広げる貴重な機会となるでしょう。

当日は、英文学科の 3・4 年生が参加し、授業内容、留学、ボランティア活動、学生生活などについてアドバイスをを行います。キャンパスツアーも実施し、構内を巡りながら先輩たちと直接交流できる時間もたくさんあります。また、模擬授業も実施します。大学の授業とはどのようなものか、実際に体験していただきます。受け身ではなく、能動的な参加が求められる大学の授業スタイルを体感してもらえたらと思います。

4 月の入学まではまだ時間がありますが、このイベントを通じて英文学科の仲間と知り合い、友達を作ることのきっかけにもなります。年末の忙しい時期かと存じますが、ぜひご参加ください。イベントの詳細は、学生ポータルサイト「ポートヘボン」にてご案内予定です。ポートヘボンへのログイン方法は、UCARO の「可否照会」画面の「PORT HEPBURN（ポートヘボン）のご案内」よりご確認ください。

【文学部 フランス文学科】

フランス文学科では、推薦入試合格者を対象に独自の入学前教育プログラムを実施します。「図書リスト」にある本に関するプレゼンテーションをしてもらいます。

まずは、「図書リスト」をよく見て最も興味を惹かれる本を選んでください。本屋に行って実際に手に取って見てみるのが大切です。次に送付される「読書ノート」にある事項を記入しながら、本を熟読してもらいます。漠然と本を読むのではなく、問題意識を持ちながら批判的に読む訓練をしてもらいます。そして、「プレゼンテーションの準備方法」を参考にしながら 3 分の発表を準備してもらいます。どのような点に注意して発表を準備するべきかは「チェックシート」を見てください。

この入学前教育プログラムは自らの知的好奇心を広げ、批判的なものの見方を養うこと、さらには人前で発表する技術の初歩を学ぶことが目的となっています。これらは 4 年間の大学教育の中核となります。大学での学びをより有意義にするために積極的に取り組んでください。具体的な指示は、1 月頃に手紙でお知らせします。

【文学部 芸術学科】

芸術学科では、推薦入試によって入学される皆さんを対象に、独自の入学前教育プログラムを実施します。入学までの期間を有効に活用し、本学科の授業をうけるための土台を養っていただくことが目的です。プログラムでは、本学科がリストアップした図書を読むこと、およびその読書にもとづき課題を提出することが

課されます。本学科が厳選した芸術に関するさまざまな図書をご紹介します予定です。詳細は、合格発表後 1 月ごろに送付する書類によりお知らせします。

【経済学部 経済学科、経営学科、国際経営学科】

経済学部では、推薦入試によって入学して来る皆さんに、合格発表から入学までの期間を有効に利用していただくため、通信方式の「明治学院大学 経済学部 入学準備プログラム」を用意しています。

大学での学びは高校とはかなり異なるため、入学後に戸惑いを覚える新入生も少なからず見られます。このプログラムは、推薦入学制度によって早い時期に入学が決定した皆さんに、高校から大学への移行を少しでも円滑にし、また入学後の学びに役立てていただくことを目的としています。

プログラムは、「数学」、「英語」および「国語」からなります。「数学」は高校で習ったことの復習が中心です。「英語」と「国語」は入学後の学習の準備と考えてください。それぞれ図書を指定し、読解問題に加え、論述式の課題によって論理的な文章の作成方法を学びかつそれを実践してもらいます。日本語・英語を問わず、文章を読み理解した上で、自分の考えを表現することは、入学後の勉学に必ず役立ちます。プログラム等の詳細は、合格発表後に別途お知らせします。

本プログラム受講に当たり、20,000 円程度の費用の負担となりますが、プログラムの意義を理解し、入学予定者全員が受講するようお願いしています。

【社会学部 社会学科、社会福祉学科】

社会学部では、推薦入試による入学予定の皆さんに、入学準備プログラムを実施しています。入学までの期間を利用し、4 月から始まる社会学、社会福祉学の学びの準備を進めてください。具体的には、「英語」「国語」「社会」について、高校時に学習した内容を通信方式で振り返り、身についた知識としたうえで、大学の講義に臨めることを目的としています。（教材は「駿台グループ」に委託し、社会学部教員の助言に基づき作成しています。）

「英語」は長文読解、「国語」も課題図書を読み、要約や記述を行ったうえで返却する方式です。「国語」については、詳細な添削をしたうえで返却しますが、一定レベルに達していない場合は再提出をしていただき、二回目の添削をしたうえで再返却します。これらは、大学の多くの講義で課される文献講読やレポート執筆の基礎となる内容です。また、「社会」は近現代社会の成り立ちや福祉政策につながる領域を中心に、基礎的な知識を復習するとともに、それらを体系的に整理して、社会問題等のしくみを理解する基礎を作ります。ぜひ、プログラムの中で再学習し、4 月からの学びに生かせるようにしてください。プログラムの詳細については、合格発表後に別途お知らせします。

受講にあたり、20,000 円程度の費用負担となりますが、プログラムの意義を理解し、入学予定者は全員が受講するようお願いします。

【法学部 法律学科】

法学部法律学科では、推薦入試合格者を対象に、①「推薦入試合格者ガイダンス」および②「入学準備プログラム」（受講料：19,000 円～19,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕）を実施します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

- ① 推薦入試合格者ガイダンスは、12 月 20 日（土）に白金キャンパスで開催予定です。当日は、推薦入試に合格された皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、オリエンテーションを行うほか、入学準備プログラムについての説明などを行います。
- ② 入学準備プログラムは、法律学科での学びに必要な読解力や論述力の養成と時事問題に関する基礎知識の習得を目的として、「英語」、「国語」および「時事問題」の 3 科目で行います。内容は、英語

は主に法制度に関係する長文読解（2回）、国語は課題図書（1冊）の要約・読解（2回・映像講義あり）です。皆さんから提出していただいた答案は添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します）。また、時事問題は、時事力を付けてもらうためにニュース検定（準2級）の教材を独習して2月14日（土）にニュース検定試験を受験してもらいます。入学準備プログラムに取り組むことにより、入学後、大学での学びにスムーズに入っていくことができます。詳細は上記12月20日（土）開催予定の推薦入試合格者ガイダンスでお知らせしますので、全員受講してください。

【法学部 消費情報環境法学科】

法学部消費情報環境法学科では、特別入試（自己推薦 AO 入試を含む）の合格者を対象に、①「特別入試合格者ガイダンス」および②「入学準備プログラム」（受講料：19,000～19,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕）を実施します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

- ① 特別入試合格者ガイダンスは、12月20日（土）に白金キャンパスで開催予定です。当日は、特別入試に合格された皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、オリエンテーションを行うほか、入学準備プログラムについての説明などを行います（詳細は、対面、オンラインまたは両者併用開催も含めて合格発表後に別途お知らせします）。
- ② 入学準備プログラムは、消費情報環境法学科での学びに必要な読解力や論述力の養成と時事問題に関する基礎知識の習得を目的として、「英語」、「国語」および「時事問題」の3科目で行います。内容は、英語は主に法制度に関係する長文読解（2回）、国語は課題図書（1冊）の要約・読解（2回・映像講義あり）です。皆さんから提出していただいた答案は添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します）。また、時事問題は、時事力を付けてもらうためにニュース検定（準2級）の教材を独習して2月14日（土）にニュース検定試験を受験してもらいます。入学準備プログラムに取り組むことにより、入学後、大学での学びにスムーズに入っていくことができます。詳細は特別入試合格者ガイダンスでお知らせしますので、全員受講してください。

【法学部 グローバル法学科】

グローバル法学科では、推薦入試（AO 入試を含む）の合格者全員を対象に、合格者発表から入学までの間に、①本学科における学修の基礎力となる読解力・文章作成能力、②時事問題に関する基礎知識の習得、および③英語の語彙力・表現力の養成により、入学後の授業にスムーズに対応できるように、「入学準備プログラム」を実施します（受講料：19,000 円～19,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕）。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

- ① については、国語と英語の2科目について、それぞれ2回の課題提出が課されます。国語では、課題図書を読んだ上で、記述問題を解いてもらいます（映像講義あり）。英語では、長文読解問題を解いてもらいます。皆さんから提出していただいた答案は添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します）。
- ② については、時事問題は、時事力を付けてもらうためにニュース検定（準2級）の教材を独習して2月にニュース検定試験（2月14日（土））を受験してもらいます。
- ③ については、さらに英語の語彙力・表現力を高めるために、英語の自習教材を指定し、進行状況を自分でチェックリストに記入しながら自習する課題を課します。チェックリストは入学後に提出することになります。

「入学準備プログラム」の説明会は12月20日（土）に白金キャンパスで開催する予定です。詳細は、合格発表後に別途お知らせします。

【法学部 政治学科】

法学部政治学科では、推薦入試による入学予定の皆さんに、「入学準備プログラム」を実施します。具体的には、大学での学びに必要な読解力、論述力、社会の問題に対する幅広い知識・関心を養成するため、「英語」「国語」「ニュース検定（準2級）」に取り組んでいただきます。英語は時事問題を中心とした長文読解（2回）、国語は課題図書（1冊）の要約・読解（2回・映像講義あり）です。提出された答案については、詳細な添削を行った上で返却し、答案が一定の評価に達していない場合には、答案の再提出を行っていただきます。また、ニュース検定（準2級）については、教材を独習し、2月14日（土）にニュース検定試験を受験していただきます。プログラムの受講にあたり、19,000円～19,500円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕の費用負担となりますが、プログラムの意義を理解していただき、入学予定者全員にこの受講をお願いしています。詳細については、12月20日（土）に白金キャンパスで実施予定の「推薦入試合格者ガイダンス」にてお知らせいたします。

【国際学部 国際学科】

国際学部国際学科では、特別入試（自己推薦 AO 入試を含む）に合格した皆さんが時間を有効に活用して入学後の学習に備えるために、次の3つの入学前教育を実施しています。これらの受講は原則として必須としています。留学生の皆さんも受講していただきますが、渡日前の場合など、状況に応じて「1. 読書課題」に代わる課題を追ってお知らせします。

入学前教育は以下の内容から構成されています。

1. 読書課題：新書5冊（うち学科推薦図書リストから3冊）を読んで読書メモを作る課題です。本を読む習慣を身につけ、自分の考えを分かりやすい言葉で表現する能力を養います。提出物は入学後に教員が確認し、コメントをつけて学生に返却します。
2. 英語課題：リーディング・リスニング等の問題から構成されます。各自で事前に解答を準備し、入学後に大学のオンラインシステムを通じて提出してもらいます。
3. 国際学科入学準備プログラム：（株）Z 会と提携して実施する日本語と英語のライティング講座です（15,000 円程度の料金が発生します）。日本語の小論文と英作文の課題を通して論理的な文章の書き方を身につけます。提出した課題は添削を受けて再提出してもらいます。

なお、課題に関する詳細は、合格発表後に送付する資料にてお知らせします。

【国際学部 国際キャリア学科】

国際学部国際キャリア学科では、4月に入学される特別入試（自己推薦 AO 入試を含む）の合格者全員に対し、英語による授業に円滑に取り組めるようにするため、「国際学部国際キャリア学科 入学プログラム」の3つのアクティビティを用意しています。

1. 読解力並びに発言能力の向上のためのプログラムで、入学者がグローバル問題かSDGsなどを選択してニュースサイト（英語および日本語）の記事を読んで自分の感想をまとめます。そして、一年生の「Introduction to Global and Transcultural Studies」の授業で履修者全員が発表を行い、その後にグローバル化の問題・課題に関する意識を高めるため、教員と学生が発表の内容を踏まえて議論します。

2. 全ての講義、演習などは英語で行いますので、入学前にご自身の英語能力の向上をさせることを強く推奨します。入学後に必要な Academic English（学術英語）の力を高めるため、自習できる学習方法・参考になる英語のサイト・英語復習プログラムを紹介します。
3. 12月の下旬に、合格者の皆さんを対象に「Welcome to GTS」というガイダンス・セッションを行います。その時に学科の紹介、入学準備の説明などを行います。

詳細は12月上旬の合格発表後に別途お知らせします。

【心理学部 心理学科】

心理学部心理学科では、推薦入試によって入学される皆さんに対し、「入学準備プログラム」を実施しています。入学までの期間を有効に利用し、本学科の授業に対応できる準備を進めることが目的です。プログラムでは、学科がリストアップした図書を読むこと、そしてその一部について課題を提出することが課されます。心理学の概論、心理統計、カウンセリング、英語、レポートの書き方に関する図書を紹介する予定です（詳細は、合格発表後1月初旬までに送付する書類によりお知らせします）。

【心理学部 教育発達学科】

教育発達学科では、推薦入試合格者全員を対象に、入学後に教育発達学科での学習を円滑にすすめることができるよう、入学前教育プログラムを実施します。このプログラムでは、①国語・英語の読解力と表現力の維持と向上を目的としたウォーミングアップ講座（16,000円（税別））が必須です。本学科の推薦入試合格者の皆さんは、プログラムの意義を理解し、必ず参加していただけますようお願いいたします。

①に加えて、②教育発達学科での学びに必要なとなる数学・理科・英語の教科別学習プログラム（11,000円（税別））を追加選択することができます（①と②で計27,000円（税別））。

①では、教育発達学科での学びに関連したテーマの長文（日本語と英文の2種類）を読み、文献を調べ、調べた内容について考え、自分の言葉でまとめることが含まれます。②では、数学・理科・英語のうち入学までに基礎固めをしておきたい科目を1つ選択できます。12月から3月にかけて、3回に分けて課題に取り組み、添削・採点およびフィードバックを受けることで、大学生としての学びの基礎を培います。

【情報数理学部 情報数理学科】

情報数理学部では、推薦入試合格者を対象に、入学準備プログラムを実施します。対象科目は数学で、入学後の学修が円滑に行えるよう、高校までの数学の基礎力を定着させることが目的です。具体的には、本学教員の助言のもとに作成された問題に取り組み、委託先の外部業者による通信添削を受けながら、高校数学の総復習を行っていただきます。本プログラムの受講にあたっては、10,000円程度の費用負担をお願いすることになります。入学後は直ちに高校数学の理解を前提とした授業が始まります。全員が受講の上、授業開始に備えていただくようお願いいたします。

以上